



鳥を利用する冬の花  
ーサザンカー

陶史の森では、冬になるとウサギ舎の周りに山茶花が咲きます。サザンカは寒さに強い常緑の植物です。その実からは高級な油が採取でき、食用や頭髪用として利用されてきました。

よく似た花にツバキがあります。サザンカの花びらがバラバラと散る一方、ツバキの花びらは丸ごと落ちるため区別できません。

花を咲かせる植物の多くは、美しい色の花や香りのよい蜜でミツバチなどの昆虫を誘い、花粉を運ばせ受粉することで子孫を残します。ところが、

サザンカは紅葉が終わる木々の葉が落ち、昆虫もほとんど活動していない冬に花を咲かせます。どうやって花粉を運ばせているのでしょうか。

実は、サザンカは虫ではなくメジロなどの鳥を誘い、花粉を運ばせています。このように鳥に花粉を運んでもらっている花を「鳥媒花」と呼びます。他の花が咲かない時に、昆虫ではなく鳥を利用して子孫を残そうとする巧妙な知恵に感じます。

したたかに、そして凛と咲く冬の花をご覧ください。

教室のご案内

バードウォッチング(自由参加)  
11月24日、12月22日(日) 午前9時～11時  
※集合場所は林泉の池堰堤

◆陶史の森は自然環境保護地域です  
陶史の森では、動植物や石などを絶対に採らないでください。また、ペットの同伴をご遠慮ください。

トキハク  
プロジェクト

新博物館準備だより

学芸員は、いま何してる？

美濃陶磁歴史館  
(☎55-1245)

第6回 館外展示と学芸員講座をはじめました



【ポスト織部の時代】  
詳細は2次元コードからご確認ください。

美濃陶磁歴史館は仮事務所への移転作業を無事に終え、新しい博物館の開館に向けた準備を着々と進めています。美濃陶磁歴史館の取り壊し工事が始まり、これまでのような展示活動は行えません。しかし、この休館期間中にも皆さまが楽しみながら見て学べる機会を提供するため、館外展示と学芸員講座を始めました。

館外展示は、美濃焼伝統産業会館の展示室で行います。第1回のタイトルは「ポスト織部の時代」。展示は令和7年1月26日まで開催しています。ぜひお越しください。



【学芸員講座】  
詳細は2次元コードからご確認ください。※既に終了した回、定員に達した回もあります。ご期待ください。

学芸員講座は、新しい博物館開館に向けた連続講座として開催しています。今年度は、土岐市が誇る国史跡「元屋敷陶器窯跡」と「乙塚古墳附段尻巻古墳」の2遺跡を主題にして全5回行います。文化プラザで行う座学と現地で行う探訪の両方を受講することで、より一層理解が深まる構成となっています。どちらか一方の参加でも十分に楽しんでいただける内容です。